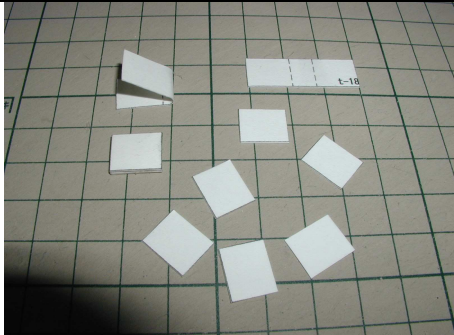
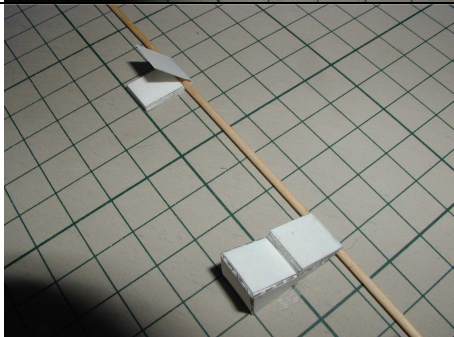
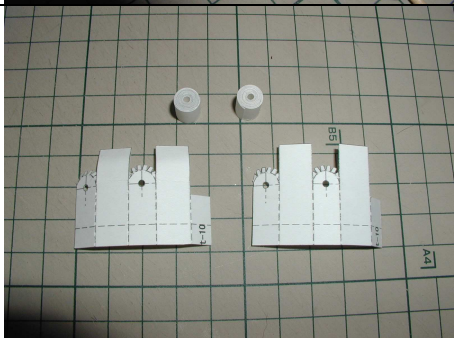
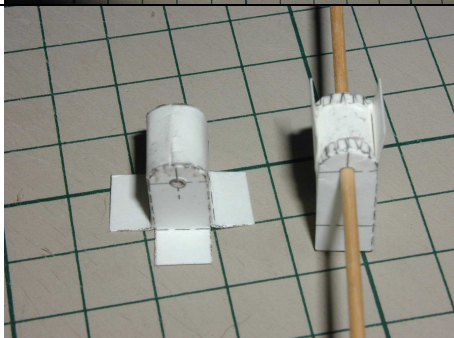
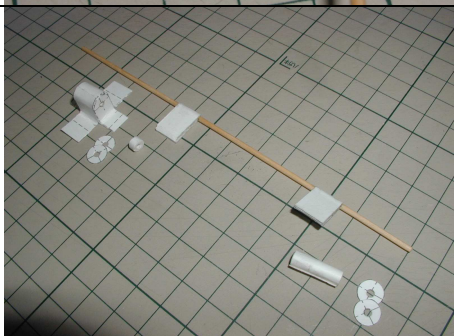


## 7. 天符の製作

7-1		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 天符のツメとなる部品を切抜き重ねて（6枚）接着します。</li> <li>2) 天符軸にツメを接着する部品を切り抜きU字状に折り曲げ、内側の片面に重ねて接着したツメとなる部品を接着します。</li> </ol>
7-2		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) <math>\phi 2</math>の竹ヒゴは天符がスムーズに回転できるように紙やすりで仕上げておきます。</li> <li>2) ツメを回転軸に接着するときの、治具となる先端が30度のクサビ状の治具を作っておきます。</li> <li>3) 下側のツメを軸の所定の位置に接着しクサビ治具に乗せ、上側のツメを所定の位置でテーブル上に寝かせるようにして接着し、両方のツメの位相差が30度となるようにします。</li> </ol>
7-3		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) <math>\phi 8 \times 10</math>mm（内径<math>\phi 2</math>）の軸受けを作ります。</li> <li>2) 天符の軸受ホルダーとなる部品を切り抜き軸が通る<math>\phi 2</math>の穴を開けておきます。</li> </ol>
7-4		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 天符の軸受ホルダーを角柱状に折り曲げ接着します。</li> <li>2) 天符の軸受ホルダーの穴位置と軸受の穴位置を合わせるように竹ヒゴを通し、軸受両端およびのりしろ部に接着剤をつけて接着します。</li> <li>3) 軸受側面に接着剤をつけホルダー側面部をまきつけるように接着します。</li> </ol>
7-5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 天符となる各部品です。天符の組み込み高さを決めるために、ツメの上下に入れる<math>\phi 6</math>mm（内径<math>\phi 2</math>）のカラーの長さは、現物合わせで決めました。今回は、下側のカラーは15mm、上側のカラーは3mmの長さとししました。</li> </ol>